MITSUBISHI

LAN制御UTILITY
取扱説明書

もくじ

1. はじめに 2
 1.1. ネットワーク機能を使う前の準備 2
 1.2. 機能と特徴 2
 1.3. 動作環境 2
2. セットアップ 4
 2.1. ProjectorView Global+のインストール 4
 2.2. ProjectorView Global+を削除する場合は（アンインストール） 5
3. メイン画面について 6
 3.1. システム設定をする 8
4. プロジェクターを登録する 9
 4.1. 接続 9
 4.2. プロジェクターをProjectorView Global+に登録する 11
 4.3. プロジェクターのIP設定を変更する場合は 13
 4.4. プロジェクターの設定を変更する場合は 14
 4.5. プロジェクターの登録を削除する場合は 14
5. プロジェクターを操作する 15
 5.1. リモートコントローラーを使って操作する 15
 5.2. プロジェクターの状態を確認する 16
6. スケジュールを設定する 17
 6.1. プロジェクターのグループを作成する 17
 6.2. スケジュールの設定を変更する場合は 18
 6.3. グループを削除する場合は 19
7. メールを設定する 20
 7.1. メールサーバーと接続する 20
 7.2. メールの設定を行う 20
 7.3. テストメールを送信する 20
8. Web UI 21
 8.1. 主な機能 21
 8.2. Web UIを起動する 21
9. ProjectorView（ProjectorView対応プロジェクターのみ） 25
 9.1. ProjectorViewの起動方法について 25
10. Telnet設定（Telnet対応プロジェクターのみ） 26
 10.1. Telnet設定画面の表示方法について 26
11. その他 27
 11.1. 故障かな?と思ったときは 27
 11.2. 対応プロジェクターについて 27

1. はじめに

1.1. ネットワーク機能を使う前の準備

本プロジェクターは、ネットワーク機能を備えています。
このネットワーク機能を使用する前に、次の2つの準備操作を行う必要があります。

- アプリケーションS/W「ProjectorView Global+」のセットアップ
- プロジェクター（本機）のIPアドレス、ネットワークパスワード、ネットワーク認証設定

プロジェクターのIPアドレス、ネットワークパスワード、ネットワーク認証設定は、プロジェクター本体から設定します。詳細については、プロジェクター本体の取扱説明書のネットワーク設定メニューをご参照ください。

<注>

- プロジェクターのIPアドレスは固定のIPアドレスに設定し、DHCP機能は「オフ」に設定することを推奨します。
- プロジェクターとコンピューターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを正しく設定してください。くわしくはネットワーク管理者にご相談ください。
- 設定したIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイは、必ずメモに残してください。設定値を忘れると、あとで検出できなくなる場合があります。

1.2. 機能と特徴

ProjectorView Global+

- 最大200台のプロジェクターをリモートコントロールできます。
- プロジェクターのIPアドレス等を設定できます。
- グループに複数のプロジェクターを登録して、一括操作できます。
- 接続プロジェクターの各種状態を監視できます。
- グループごとに、電源ON/OFFのスケジュールを設定できます。
- 電源ON/OFFスケジュールは、曜日ごとに設定できます。
- 盗難検知対象に設定したプロジェクターとの通信不能時に、指定したアドレスに警告メールを出すことができます。

Web UI

- Webブラウザーを使って、プロジェクターを1台単位で制御/監視できます。
- プロジェクター本体に警告/異常状態が発生した場合、不具合内容を確認できます。

1.3. 動作環境

- 対応OS
  Windows XP、Windows Vista、Windows 7（いずれのOSの場合も、64bit版での動作は保証しません。）
- CPU
  上記OSが動作する最低スペック以上
- メモリ
  上記OSが動作する最低スペック以上
- HDD空き容量
  32MB 以上を推奨
- Webブラウザー（Web UI使用時）
  Internet Explorer Ver.8.0/Ver.9.0を推奨
  （この機能を使用するには、コンピューターにAdobe Flash Player をインストールしておく必要があります。Adobe Systems Incorporated のホームページから Adobe Flash Player をダウンロードしてください。）

1. はじめに

Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
（Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。）
Adobe、Flash、Adobe Flash Playerは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標または登録商標です。
Crestron およびRoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
その他、記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中では “®” マークや “TM” マークは明記していません。

- Windows XPは、Microsoft Windows XP Home Edition/Professionalの略称として表記しています。
- Windows Vistaは、Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimateの略称として表記しています。
- Windows 7は、Microsoft Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimateの略称として表記しています。

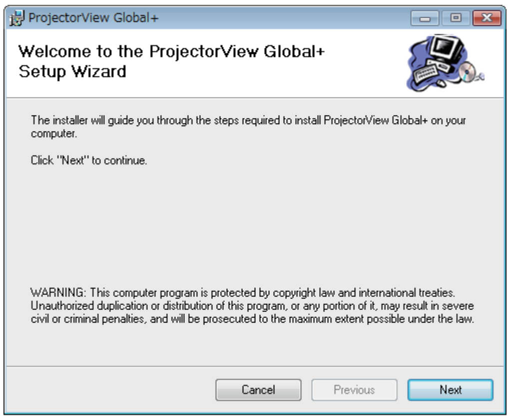
2. セットアップ

2.1. ProjectorView Global+のインストール

インストールする前に、必ずCD-ROM内の「ReadMe」をご覧ください。
付属CD-ROMのToolsフォルダ内にある“ProjectorView Global+v3_2_J.msi”をコンピューターのハードディスクにコピーしてください。

1 “ProjectorView Global+v3_2_J.msi”をダブルクリックし、ProjectorView Global+のインストーラーを起動する

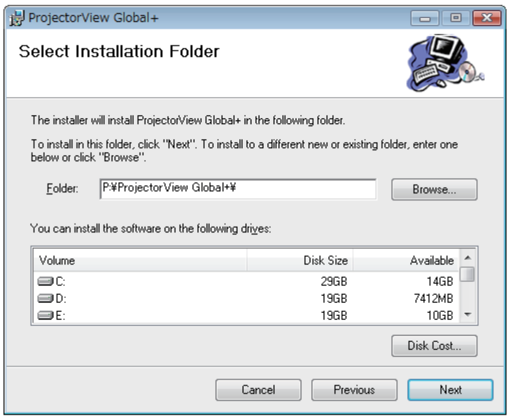
2 セットアップウィンドウが表示されるので、[Next] をクリックする



3 インストールするフォルダを選択し、[Next] をクリックする

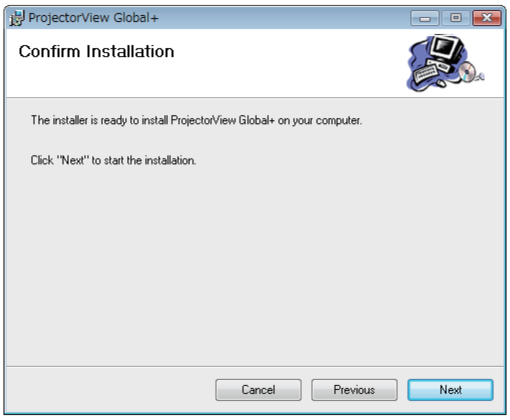
<注>

- Windows Vista/Windows 7をお使いの場合、インストール先のフォルダは変更しないでください。

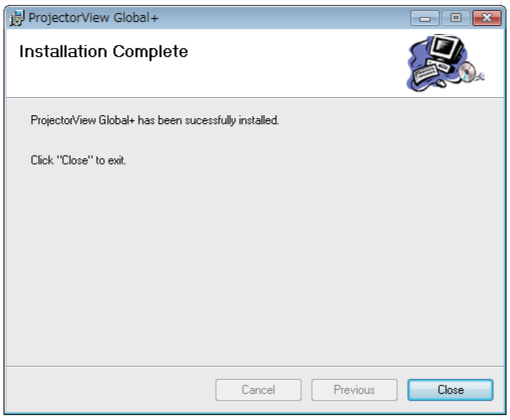


4 [Next] をクリックする

- インストールが開始されます。



5 インストールが完了したら、[Close] をクリックする

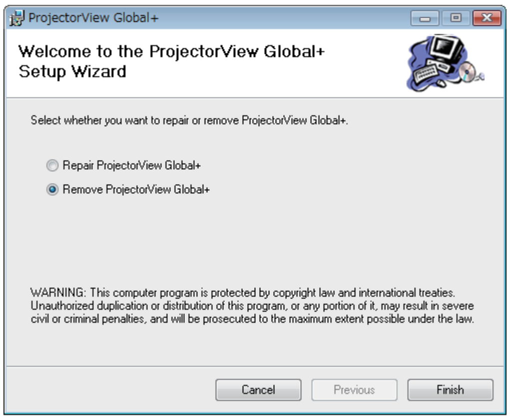


2.2. ProjectorView Global+を削除する場合は（アンインストール）

<注>

- ProjectorView Global+をアンインストールする場合は、事前にProjectorView Global+を終了しておいてください。起動したままでは、正常にアンインストールできません。

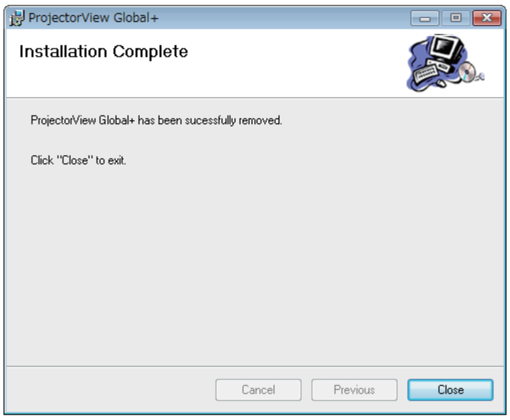
1 “ProjectorView Global+v3_2_J.msi” をダブルクリックし、ProjectorView Global+のインストーラーを起動する



2 “Remove ProjectorView Global+” を選択し、[Finish] をクリックする

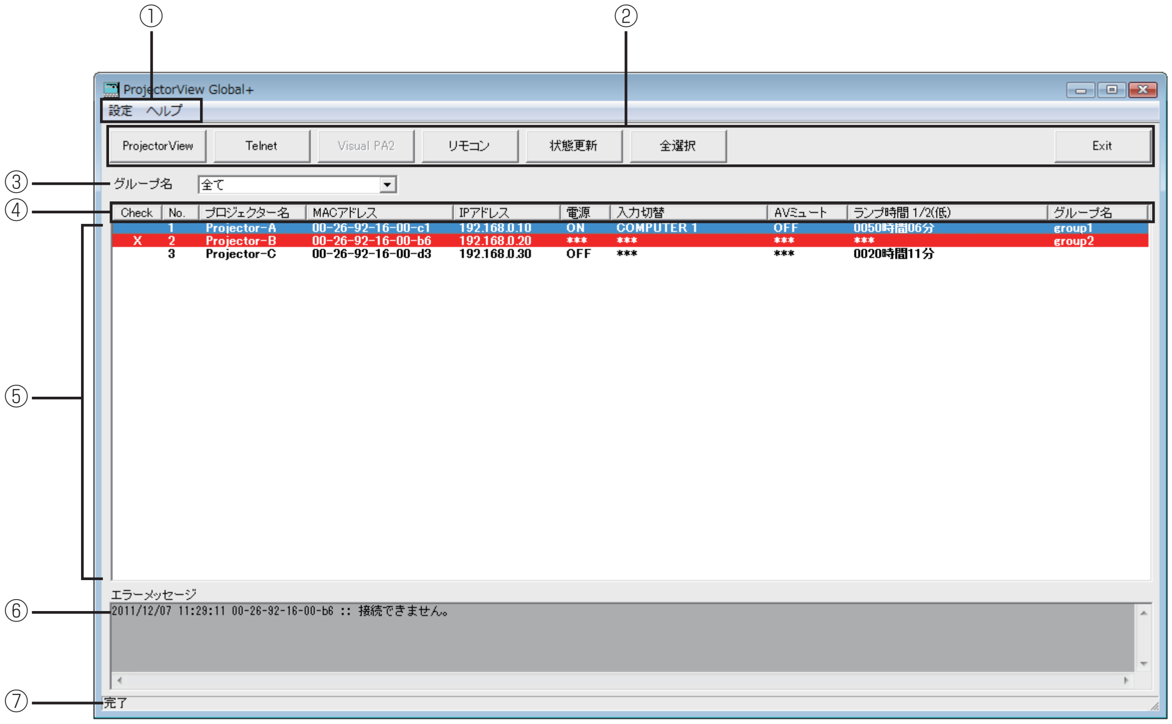
- アンインストールが開始されます。

3 アンインストールが完了したら、[Close] をクリックする



- ログや設定ファイルは自動的に削除されませんので、手動で削除してください。

3. メイン画面について



① **メニューバー**

設定　以下の各種設定が行えます。

- グループ新規作成：　新規グループを作成します。
- スケジュール設定：　既存グループのスケジュール設定を編集します。
- 自動検索：　プロジェクターの自動検索を行います。
- IP設定：　プロジェクターのIP設定を行います。
- プロジェクター設定：　プロジェクター設定を編集します。
- メール設定：　本アプリケーションで使用するメール設定を行います。
- プロジェクター検索範囲設定：　ルーターを経由してプロジェクターと通信するための検索範囲設定を行います。
- 環境設定：　本アプリケーションのシステム設定を行います。

ヘルプ　バージョン情報を表示します。

② **ツールバー**

ProjectorView　Webブラウザーを用いてプロジェクターを1対1で制御できます。（ProjectorView対応プロジェクターのみ。）また、プロジェクターに異常が発生した場合、異常状態の詳細を表示します。くわしくは、25ページをご覧ください。

Telnet　Telnetによる各種設定を行います。（Telnet対応プロジェクターのみ。）パスワード設定、ProjectorView表示言語設定、LAN制御設定、PJLink認証設定が行えます。くわしくは、26ページをご覧ください。

Visual PA2　本機能は使用できません。

リモコン　プロジェクターを操作するためのコマンドリモコンウィンドウを表示します。プロジェクターの電源の入/切、入力切換が行えます。

状態更新　現在プロジェクターリストに表示されている各プロジェクターの電源、入力切換、AVミュート、ランプ時間1/2（低）の状態を再取得します。
ただし、電源切の状態やウォームアップ中、クーリング中では入力切換とAVミュートは再取得されません。

全選択　現在プロジェクターリストに表示されている全プロジェクターを選択状態/未選択状態にします。

Exit　ProjectorView Global+を終了します。ただし、プロジェクターの自動検索中や状態取得中は終了できません。メイン画面右上の☒ボタンをクリックすると状態取得中でも強制終了できますが、Windowsの警告メッセージが出ます。

③ **グループ名**

プロジェクターのグループを選択します。"全て" を選択すると、登録された全プロジェクターが表示されます。作成したグループはリストに追加され、グループを選択するとそのグループに所属しているる全プロジェクターが表示されます。

④ **ステータスタグ**

プロジェクターのプロパティとステータスを示します。
各タグボタンをクリックする（MACアドレスを除く）と、リストを並べ替える（ソートする）ことができます。

⑤ **プロジェクターリスト表示欄**

選択したグループに所属しているプロジェクターをリスト表示します。
また、プロジェクターのステータスも表示します。
プロジェクターの状態により、下記のように表示の色が変わります。

黒色：	通常時
赤色：	プロジェクター異常時 （→ ProjectorViewで異常内容を確認してください。通信できない場合は、「11.1. 故障かな?と思ったときは」をご覧ください。）
黒色（背景 黄）：	ランプ寿命警告時
白色（背景 赤）：	盗難検知対象に設定したプロジェクターとの通信不能時 （→ 盗難の可能性がありますので、確認してください。）
灰色：	通信不能時

⑥ **エラーメッセージ**

プロジェクターとの通信時に検出されたエラーメッセージを表示します。

⑦ **動作状態表示欄**

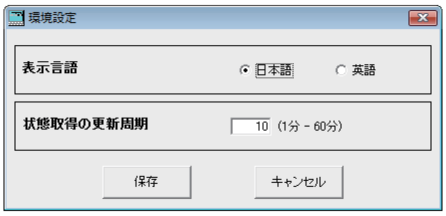
ProjectorView Global+の動作状態を示します。リモートコントロールやスケジュールなどによる通信処理中などの動作状態を示します。

3. メイン画面について

3.1. システム設定をする

1 メイン画面のメニューバーの “設定” から “環境設定” を選択する

- “環境設定” ウィンドウが表示されます。（初期値は、下記表示例のようになっています。）



項目	内容
表示言語	表示言語を日本語もしくは英語で選択できます。
状態取得の更新周期	プロジェクターの状態取得を行う周期を設定できます。1分～60分の間で、整数値で設定します。

2 希望の設定に変更し、[保存] をクリックする

- 変更した設定を反映させるには、ProjectorView Global+を再起動する必要があります。

4. プロジェクターを登録する

4.1. 接続

ProjectorView Global+をインストールしたコントローラーPCとプロジェクターを、市販のLANケーブルまたは無線LANアダプターで接続してください。

複数のプロジェクターを接続する場合には、市販のハブなどを使用して接続してください。

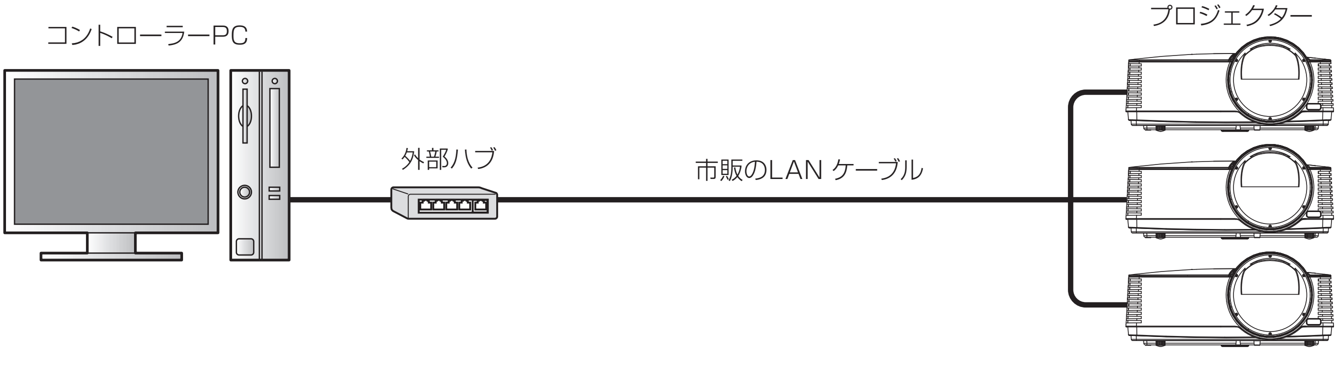
- コントローラーPCには、LAN端子または802.11b/g/n 無線LANアダプターが必要です。
- LANケーブルは、カテゴリー5対応、100BASE-T対応のものをご使用ください。
  クロス結線とストレート結線の両方のLANケーブルが使用できます。
  （接続例5と6の場合は、ルーターの取扱説明書をご確認ください。）

<注>

- プロジェクターのスタンバイモードの設定により、LAN機能が利用できないことがあります。LAN機能を有効にするためには、ご使用のプロジェクターの取扱説明書を参照の上、設定を変更してください。
- USB無線LANアダプターの仕様によっては、プロジェクターに使用できないことがあります。

接続例 1

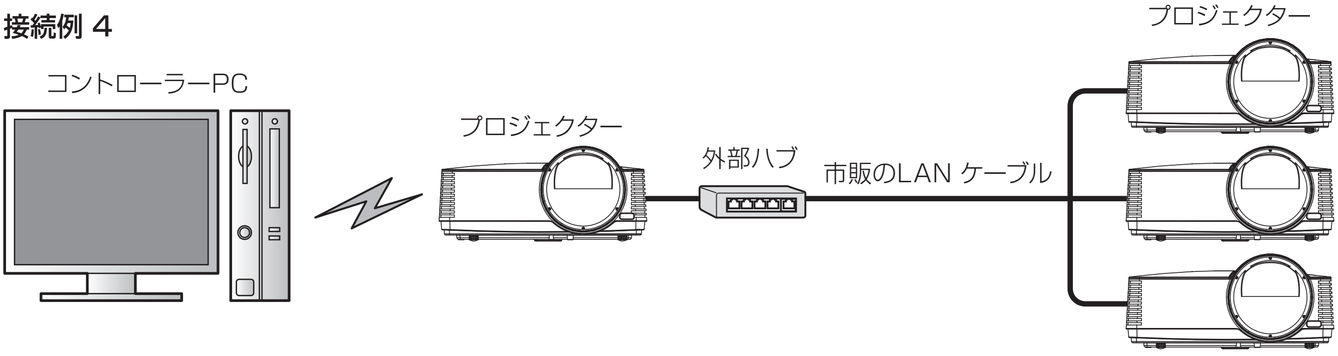
接続例 2



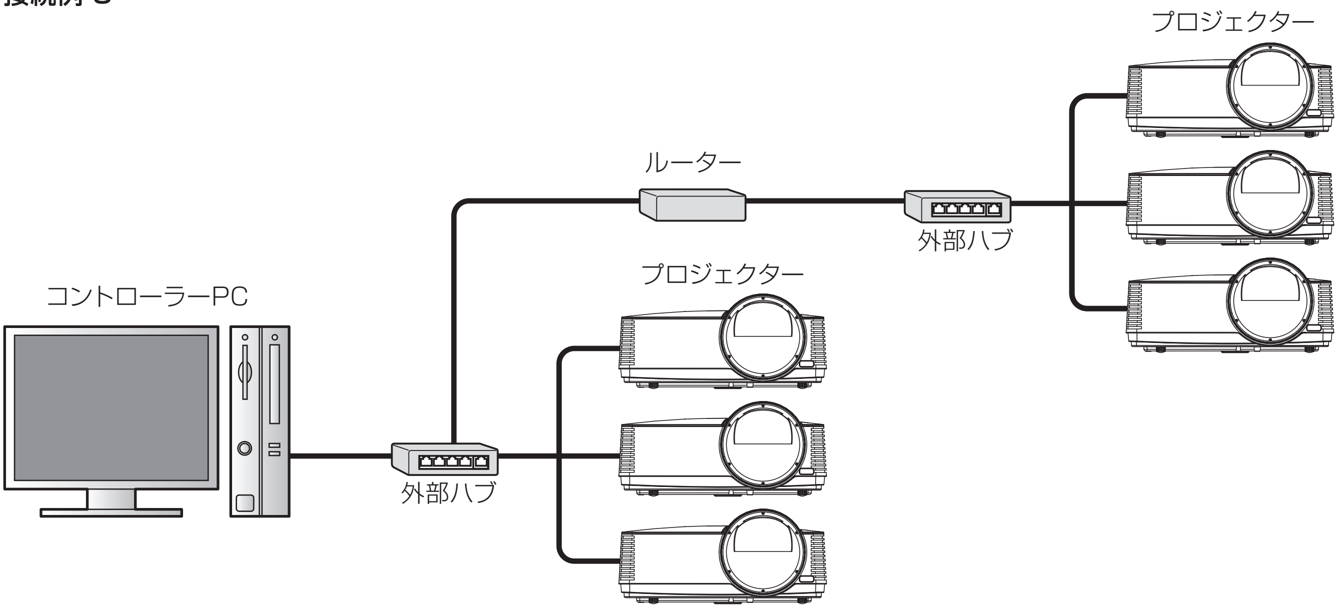
接続例 3

4. プロジェクターを登録する

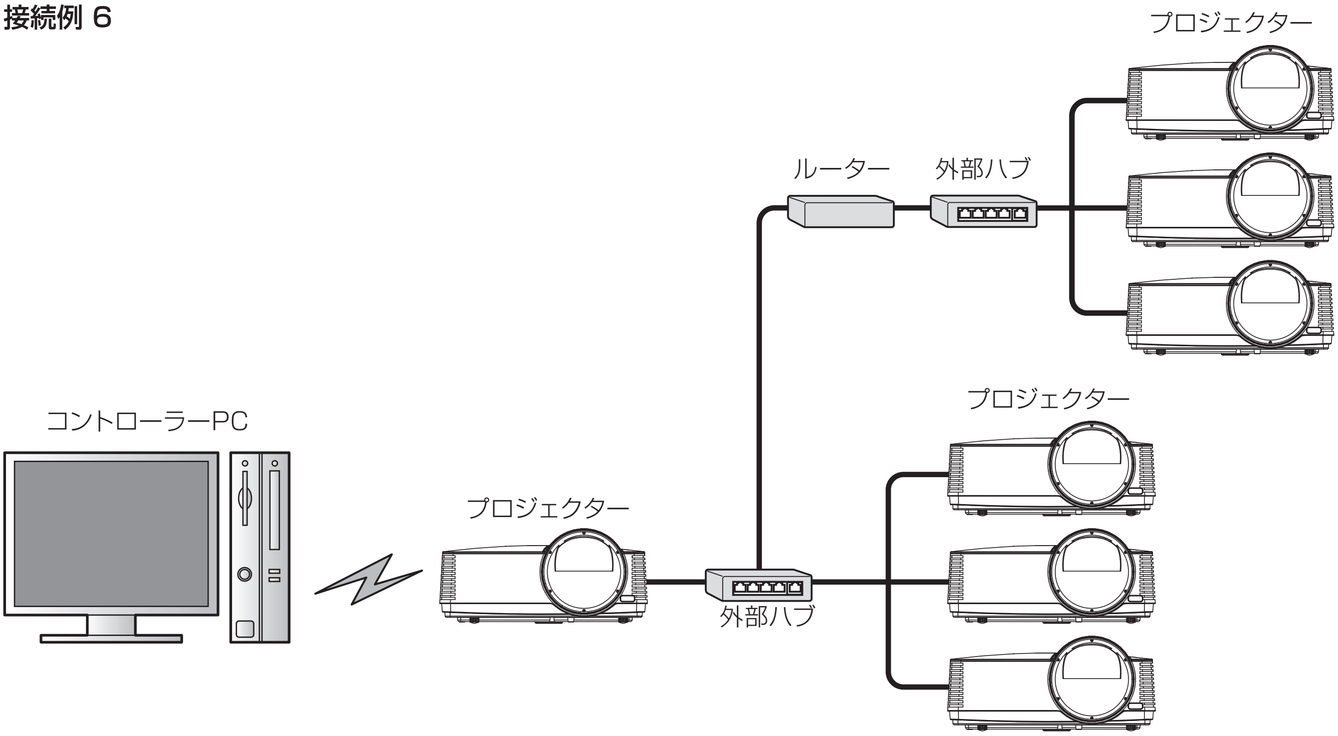
接続例 4



接続例 5



接続例 6



4.2. プロジェクターをProjectorView Global+に登録する

プロジェクターの登録手順は、前述の接続例により、手順が若干異なります。

- 接続例1～4（同じローカルネットワーク内にプロジェクターを設置）の場合、当該ネットワーク内のプロジェクターを自動検索し、登録します。くわしくは、下記の手順Aをご覧ください。
- 接続例5、6（ルーターを経由してプロジェクターを設置）の場合、先にプロジェクターが設置されているIPアドレスの範囲を設定し、当該範囲を自動検索し、登録します。くわしくは、12ページの手順Bをご覧ください。
- 登録できるプロジェクターは、最大200台までです。
- 自動検索による登録直後のプロジェクターは、グループが未設定になっています。登録したプロジェクターがメイン画面のプロジェクターリストに表示されていない場合は、グループ選択プルダウンメニューから“全て”を選択してください。

手順A - 接続例1～4（同じローカルネットワーク内にプロジェクターを設置）の場合

1 ProjectorView Global+を起動する

2 メイン画面のメニューバーの“設定”から“自動検索”を選択する

- LAN接続しているプロジェクターが自動検索されます。
- お使いのプロジェクターの機種によっては、初回接続時にパスワード認証が必要です。プロジェクター本体等でパスワードが変更されると、再度パスワード認証が必要となります。

<注>

- プロジェクターを起動するごとにIPアドレスが変わる可能性がありますので、通信できない場合は再度「自動検索」を行ってください。
- 検索後、プロジェクター本体でIPアドレスを変更した場合、再度「自動検索」を行ってください。
- IPアドレスが同じプロジェクターを複数登録された場合は、ネットワークに接続されていないプロジェクターを“プロジェクター設定”から削除してください。

4. プロジェクターを登録する

手順B - 接続例5、6（ルーターを経由してプロジェクターを設置）の場合

ルーターを経由したプロジェクターを自動検索する場合、「プロジェクター検索範囲設定」でそのIPアドレスの検索範囲設定を行ってください。

1 ProjectorView Global+を起動する

2 メイン画面のメニューバーの "設定" から "プロジェクター検索範囲設定" を選択する

- "プロジェクター検索範囲設定" ウィンドウが表示されます。

項目	内容
① 先頭IPアドレス	検索範囲の先頭IPアドレスを設定します。 （IPアドレスの第1オクテットと最終オクテットに1～254の数値、第2オクテットと第3オクテットに0～255以外の数値が含まれる場合は、設定できません。）
② 終了IPアドレス	検索範囲の終了IPアドレスの最終オクテットを設定します。 （設定数値に1～254以外の数値が含まれる場合は、設定できません。また、①の先頭IPアドレスの最終オクテットより前の数値を設定した場合は、設定できません。）
③ 自動検索	設定を保存したあと、プロジェクターの自動検索を行います。

3 プロジェクターの検索範囲 (①、②) をIPアドレスで設定する

- 検索範囲は、最大16 まで設定できます。（設定欄の各行ごとに設定できます。）

4 設定を保存する場合は [保存] を、続けてプロジェクターの検索を行う場合は [自動検索] をクリックする

- [保存] をクリックすると、検索範囲の設定が保存され、プロジェクター検索範囲設定ウィンドウが閉じます。
- 検索範囲の設定を保存したくないときは、[キャンセル] をクリックしてプロジェクター検索範囲設定ウィンドウを閉じます。
- 設定を保存したあとメニューバーの "設定" から "自動検索" を選択すると、保存した検索範囲で自動検索ができます。
- お使いのプロジェクターの機種によっては、初回接続時にパスワード認証が必要です。プロジェクター本体等でパスワードが変更されると、再度パスワード認証が必要となります。

<注>
- 自動検索後もルーターを経由してプロジェクターと接続する場合、対象となるプロジェクターのIPアドレスを含む検索範囲を設定しておく必要があります。
- プロジェクターを起動するごとにIPアドレスが変わる可能性がありますので、通信できない場合は再度検索範囲を設定し、「自動検索」を行ってください。
- 検索後、プロジェクター本体でIPアドレスを変更した場合、再度「自動検索」を行ってください。
- IPアドレスが同じプロジェクターを複数登録された場合は、ネットワークに接続されていないプロジェクターを"プロジェクター設定"から削除してください。

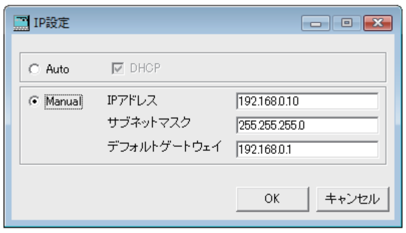
4.3. プロジェクターのIP設定を変更する場合は

プロジェクターのIP設定を変更できます。

1 メイン画面のプロジェクターリストから、変更したいプロジェクターを選択する

2 メイン画面のメニューバーの"設定"から"IP設定"を選択する

- "IP設定"ウィンドウが表示されます。



3 自動割当を行う場合「Auto」を選択してDHCPにチェックを入れる。手動で割り当てる場合は「Manual」を選択し、IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力する

項目	内容
DHCP	DHCPサーバーによるIP自動割当を行います。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。

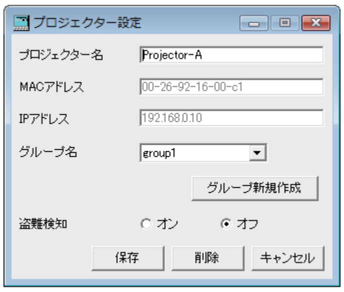
<注>
- "IP設定"ウィンドウでプロジェクターのIP設定を変更しても、プロジェクター本体メニューの「DHCP機能」、「IPアドレスの開始」、「IPアドレスの終了」の設定は変更されません。
- プロジェクターのIP変更後、盗難検知エラーダイアログが表示されることがあります。

4.4. プロジェクターの設定を変更する場合は

1 メイン画面のプロジェクターリストから、変更したいプロジェクターを選択する

2 メイン画面のメニューバーの “設定 “から “プロジェクター設定” を選択する

- “プロジェクター設定 “ウィンドウが表示されます。

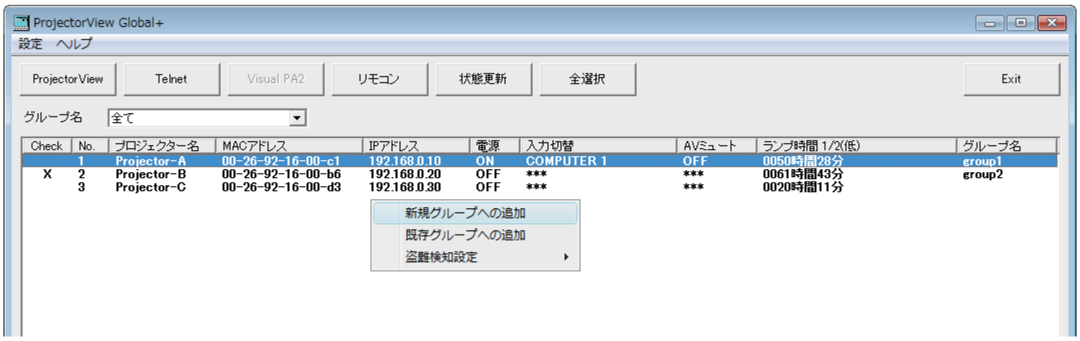


3 プロジェクター名、所属グループ、盗難検知のオン/オフを設定する

項目	内容
プロジェクター名	プロジェクター名を、半角英数字で64文字以内で入力します。
MACアドレス	MACアドレスが表示されます。設定は変更できません。
IPアドレス	IP アドレスが表示されます。ここでは、設定は変更できません。IPアドレスの変更が必要な場合は、[IP設定] で行ってください。
グループ名	所属グループをプルダウンメニューから選択します。 （[グループ新規作成] をクリックすると、新しいグループを作成できます。→「6.1. プロジェクターのグループを作成する」をご覧ください。）
盗難検知	盗難検知のオン/オフを指定します。

<注>
右クリックメニューでも、プロジェクターの設定を変更できます。（複数選択可能）

- 新規グループへの追加：　新規作成したグループへの登録
- 既存グループへの追加：　所属グループの変更
- 盗難検知設定：　盗難検知設定の変更（ON/OFF）



4.5. プロジェクターの登録を削除する場合は

1 メイン画面のプロジェクターリストから、削除したいプロジェクターを選択する

2 メイン画面のメニューバーの “設定” から “プロジェクター設定” を選択する

- “プロジェクター設定” ウィンドウが表示されます。

3 ［削除］をクリックする

- 選択したプロジェクターが削除されます。

5. プロジェクターを操作する

5.1. リモートコントローラーを使って操作する

グループまたはプロジェクター単体で操作することができます。

1 メイン画面のプロジェクターリストから、操作したいプロジェクターを選択する

- 複数のプロジェクターを同時に選択する場合は、Ctrlキーを押しながら選択してください。

2 メイン画面のツールバーの [リモコン] をクリックする
または、操作したいプロジェクターが1台の場合は、メイン画面のプロジェクターリスト上で操作したいプロジェクターをダブルクリックする

- “リモコン” ウィンドウが表示されます。

3 ウィンドウ上の各操作ボタンを選択して、プロジェクターを操作する

コマンド	ボタン	操作内容
電源	電源ON	プロジェクターの電源をONします。
	電源OFF	プロジェクターの電源をOFFします。
入力切替	COMPUTER 1	入力信号をCOMPUTER 1に変更します。
	COMPUTER 2	入力信号をCOMPUTER 2に変更します。
	VIDEO	入力信号をVIDEOに変更します。
	S-VIDEO	入力信号をS-VIDEOに変更します。
	COMPONENT	入力信号をCOMPONENTに変更します。
	DIGITAL 1*1	入力信号をDIGITAL 1 *1 に変更します。
	DIGITAL 2*1	入力信号をDIGITAL 2 *1 に変更します。
	DIGITAL 3*1	入力信号をDIGITAL 3 *1 に変更します。
	STORAGE 1	入力信号をPC Less Presentationに変更します。
	STORAGE 2	入力信号をUSB Displayに変更します。
	NETWORK	入力信号をLAN Displayに変更します。
Exit		“リモコン” ウィンドウを閉じます。

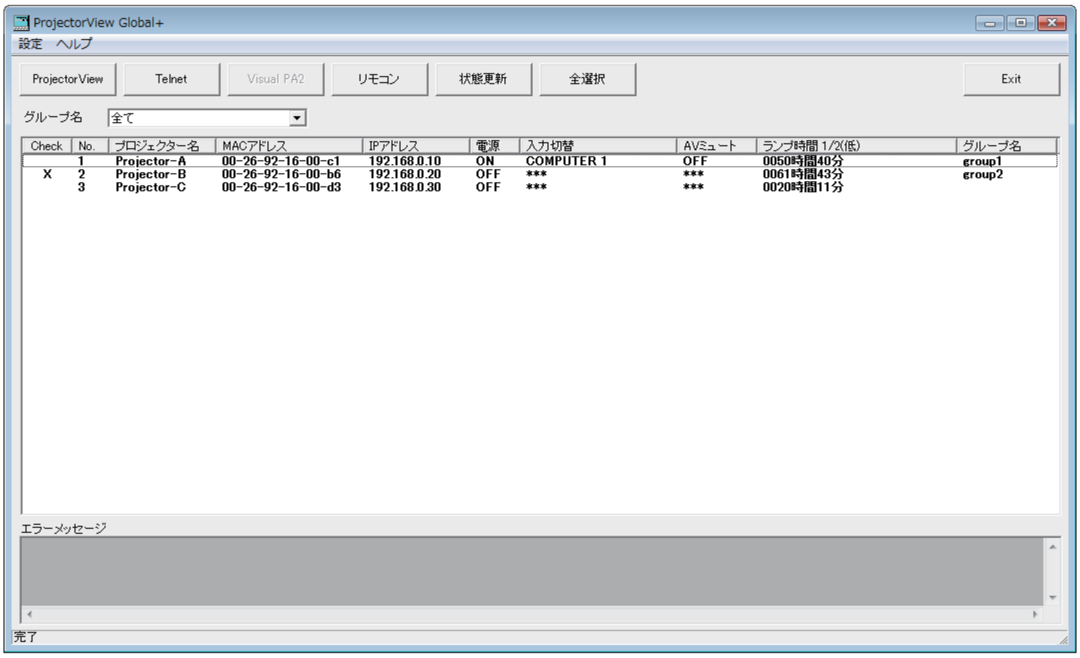
*1: DIGITAL 1～3は、お使いのプロジェクターによってはHDMI (HDMI 1/HDMI 2) 、DVI-D、またはSDIと表示されます。

<注>

- 操作が完了するまでは、次の操作は行えません。
- プロジェクターの状態を再取得 (リフレッシュ) 中は、操作を行うことはできません。
- プロジェクターの機種により、対応する入力切換の種類が異なります。プロジェクターが対応していない入力切換は選択できません。

5.2. プロジェクターの状態を確認する

プロジェクターの状態は、メイン画面のプロジェクターリスト中に表示されています。



項目	内容
Check	盗難検知設定（ON/OFF）
No.	プロジェクターリスト登録番号
プロジェクター名	アプリケーション内で設定したプロジェクター名
MACアドレス	プロジェクターのMACアドレス
IPアドレス	プロジェクターのIPアドレス
電源	プロジェクターの電源状態（ON/OFF）
入力切替*1	プロジェクターの入力信号（COMPUTER 1/COMPUTER 2/VIDEO/S-VIDEO/HDMI（HDMI1/HDMI2）/DVI-D/SDI/PC Less Presentation/USB Display/LAN Display/COMPONENT）
AVミュート	プロジェクターのミュート状態（ON/OFF）
ランプ時間1/2（低）	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間（HHHH：MM） ランプが2つある機種は、左にランプ1、右にランプ2の使用時間を表示します。
グループ名	プロジェクターの所属グループ

*1：HDMI、DVI-Dは、お使いのプロジェクターによってはDIGITAL 1またはDIGITAL 2と表示されます。

<注>

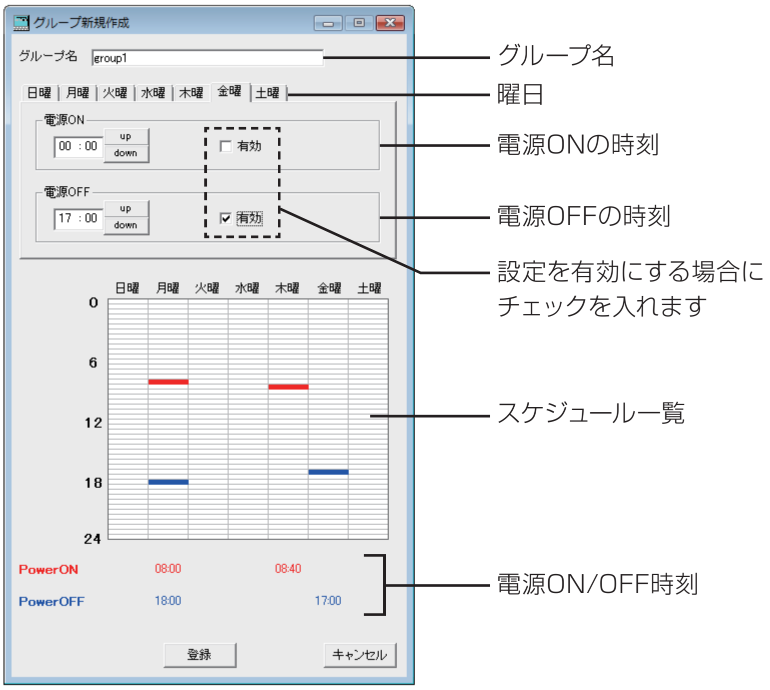
- 自動再取得の周期の初期値は、10分です。変更する場合は「3.1. システム設定をする」をご覧ください。
- 電源切の状態やウォームアップ中、クーリング中では入力切換とAV ミュートは再取得されません。
- 多数のプロジェクターが接続されている場合は、状態取得に時間がかかる場合があります。状態取得中は、メイン画面下部のステータスバーが “状態更新中...” となり、取得完了時に “完了” となります。

6. スケジュールを設定する

6.1. プロジェクターのグループを作成する

複数のプロジェクターをグループにまとめて、一括制御することができます。
また、各グループでは、曜日ごとに電源ON/OFFの時刻を設定できます。
電源ON/OFFのスケジュールはグループ単位で行われますので、同じスケジュールで稼働させたいプロジェクターを、同一グループにまとめてください。
設定を有効にすると、スケジュール一覧に電源ON/OFFの時刻設定内容が表示されます。

［例］　グループ“group1”に対して、月曜日の8：00に電源ONして同じ曜日の18：00に電源OFF、木曜日の8：40に電源ONして金曜日の17：00に電源OFFする時刻設定をするとき。



1 メイン画面のメニューバーの“設定”から“グループ新規作成”を選択する

- “グループ新規作成”ウィンドウが表示されます。

2 “グループ名”欄に、作成するグループ名を入力する（半角英数記号で16文字以内）

3 電源ON/OFF時刻を設定する曜日を選択する

4 電源ON時刻を設定する場合のみ、“電源ON”欄で電源ON時刻を設定し、“有効”にチェックを入れる

5 電源OFF時刻を設定する場合のみ、“電源OFF”欄で電源OFF時刻を設定し、“有効”にチェックを入れる

6 電源ON/OFF時刻を設定する曜日が複数ある場合は、手順3～5を繰り返す

7 ［登録］をクリックする

6. スケジュールを設定する

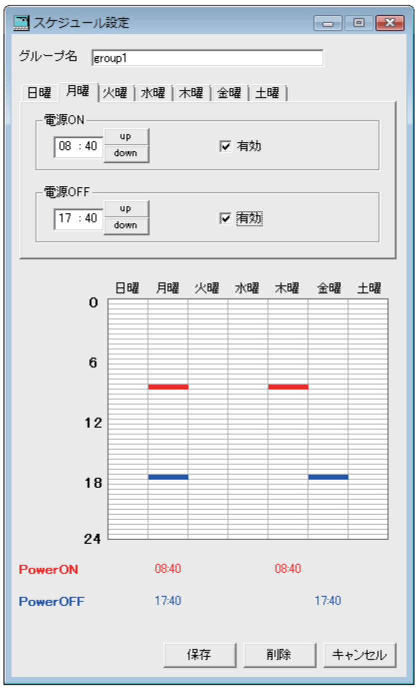
<注>
- 電源ON時刻と電源OFF時刻を、同じ曜日の同一時刻に設定することはできません。
- スケジュール機能は、“ProjectorView Global+” が実行中のときに動作します。
- 制御するプロジェクター台数が多い場合など、状況によっては、電源制御が実施される時刻がスケジュールの設定時刻からずれる場合があります。
- インターネット上のサーバーを利用した自動時刻合わせ（NTP）機能を利用している場合、スケジュールの設定時刻を飛び越してしまい、スケジュール動作が実行されない場合があります。

6.2. スケジュールの設定を変更する場合は

1 メイン画面のグループ選択プルダウンメニューから、変更したいグループを選択する

2 メイン画面のメニューバーの “設定” から “スケジュール設定” を選択する

- “スケジュール設定” ウィンドウが表示されます。



3 修正したい内容に合わせて変更を行い、[保存] をクリックする

- 修正した内容が反映されます。

6.3. グループを削除する場合は

1 メイン画面のグループ選択プルダウンメニューから、削除したいグループを選択する

2 メイン画面のメニューバーの “設定” から “スケジュール設定” を選択する

- “スケジュール設定” ウィンドウが表示されます。

3 ［削除］をクリックする

- 選択したグループが削除されます。

<注>

- グループを削除すると、該当グループに所属していたプロジェクターは、どのグループにも未所属になります。グループ設定ウィンドウで改めて所属グループを設定し直してください。

7. メールを設定する

盗難検知対象に設定しているプロジェクターとの通信が途絶えた場合は、指定したアドレスに警告メールを送信することができ、プロジェクター盗難の早期検知に役立てることができます。
なお、メール設定はプロジェクターごとやグループごとに設定することはできません。すべてのプロジェクターで同一の設定となります。

7.1. メールサーバーと接続する

ProjectorView Global+が動作しているコントローラーPCおよびプロジェクターが接続されているネットワークに、メールサーバーを接続してください。

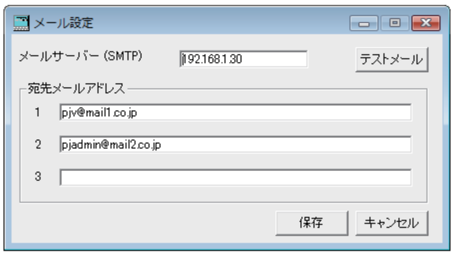
7.2. メールの設定を行う

メールサーバーのアドレスや、メール送信先のアドレスを指定します。

<注>
- ネットワーク環境については、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 メイン画面のメニューバーの “設定” から “メール設定” を選択する

- “メール設定” ウィンドウが表示されます。



2 ネットワーク環境に合わせて設定項目を入力し、[保存] をクリックする

項目名	内容
メールサーバー (SMTP)	メールサーバーのIPアドレス (例:192.168.7.230) を入力します。 またはサーバー名 (例:mail.example.com) を入力します。
宛先メールアドレス	メール送信先のメールアドレスを、半角64文字以内で入力します。 (最大3カ所まで指定可能)

7.3. テストメールを送信する

メール設定ウィンドウの各項目の設定を完了後、メール送信先へ正しくメールが送信されるか、テストメールを発行することができます。メール設定ウィンドウの右上の [テストメール] をクリックすると、テストメールが発行されます。メール送信先に設定したアドレスに、正しくメールが届いているか確認してください。

<注>
- メール機能は、“ProjectorView Global+” が実行中のときに動作します。
- テストメールが正しく受信できなかった場合は、メールサーバーアドレスとメール送信先のアドレス、およびネットワークの接続状態を確認してください。くわしくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- メールサーバーの認証機能により、メール不達になる可能性があります。くわしくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 盗難検知で監視しているプロジェクターとの通信が途絶えた場合、盗難確認エラーダイアログが出ます。
  ただし、プロジェクターリストの表示は、更新に時間がかかりますので、同時には更新されません。

8. Web UI

Web UIとは、Webブラウザーを用いたプロジェクターの制御・監視ツールです。

8.1. 主な機能

- プロジェクターの各種制御（コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。）
- プロジェクターの各種状態表示（プロジェクター名、ランプモード、ランプ使用時間、エラー/警告等）

8.2. Web UIを起動する

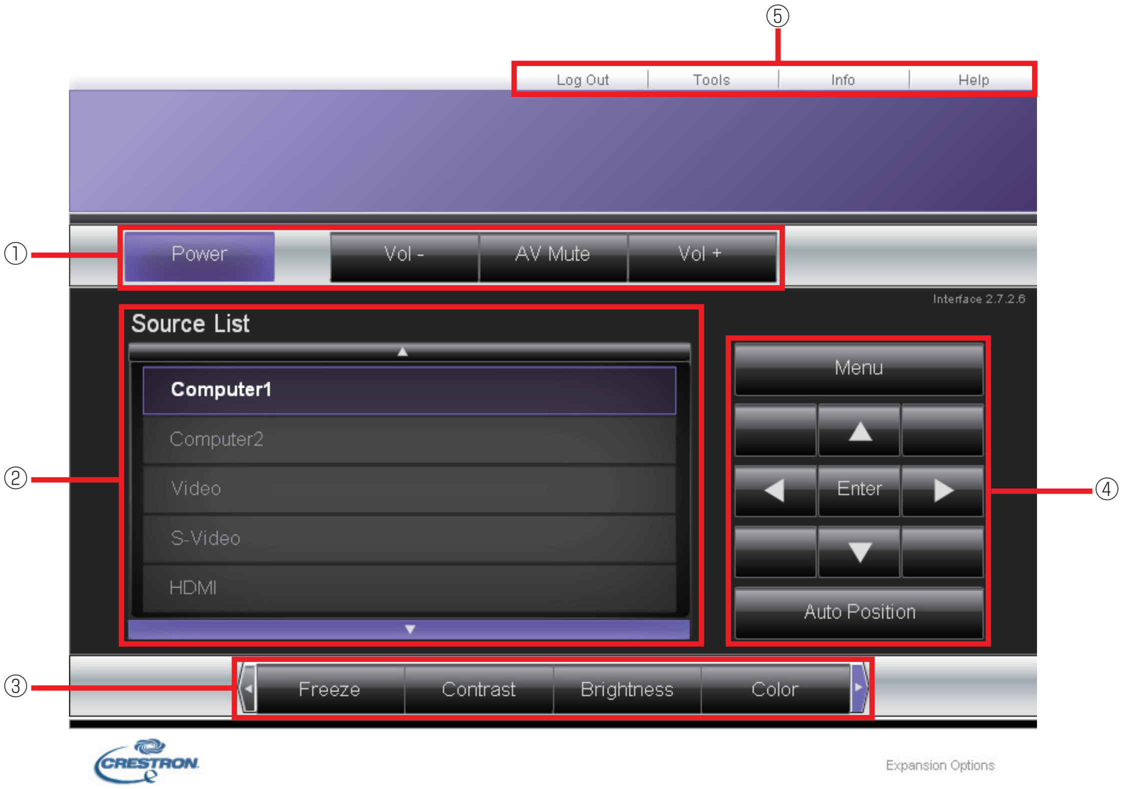
1 ブラウザーのアドレスバーにプロジェクターのIP アドレス（例： http://192.168.0.30)を入力し、Enterキーを押す

<注>

- 1台のプロジェクターに対して接続できるWeb UIは、1つのみです。

■ 操作画面について

画面上の各ボタン、タブをクリックすることにより、以下の操作が行えます。



① Power： 電源を入/切します。
AV Mute： 映像と音声を一時的に消去します。もう一度クリックすると、消去が解除されます。
Vol +/-： 音量を調整します。

② Source List： クリックした入力表示の映像に切り換えます。画面に表示されていない入力は、▲、▼をクリックして上下にスクロールすると表示されます。

③ **Freeze**：映像を一時停止します。もう一度クリックすると、通常の映像表示に戻ります。
Contrast：映像のコントラストを調整します。
Brightness：映像の明るさを調整します。
Color：映像の色の濃さを調整します。
Sharpness：映像の鮮鋭度を調整します。
Magnify：映像の一部を拡大表示します。[⊕]ボタンをクリックすると、投写サイズを変えずに映像が拡大され、[⊖]ボタンをクリックすると、[⊕]ボタンで拡大した部分が縮小されます。▲、▼、◀、▶ボタンを押すと、拡大表示する位置を移動できます。
◀、▶：ボタン表示を左右にスクロールし、表示されていないボタンを表示します。

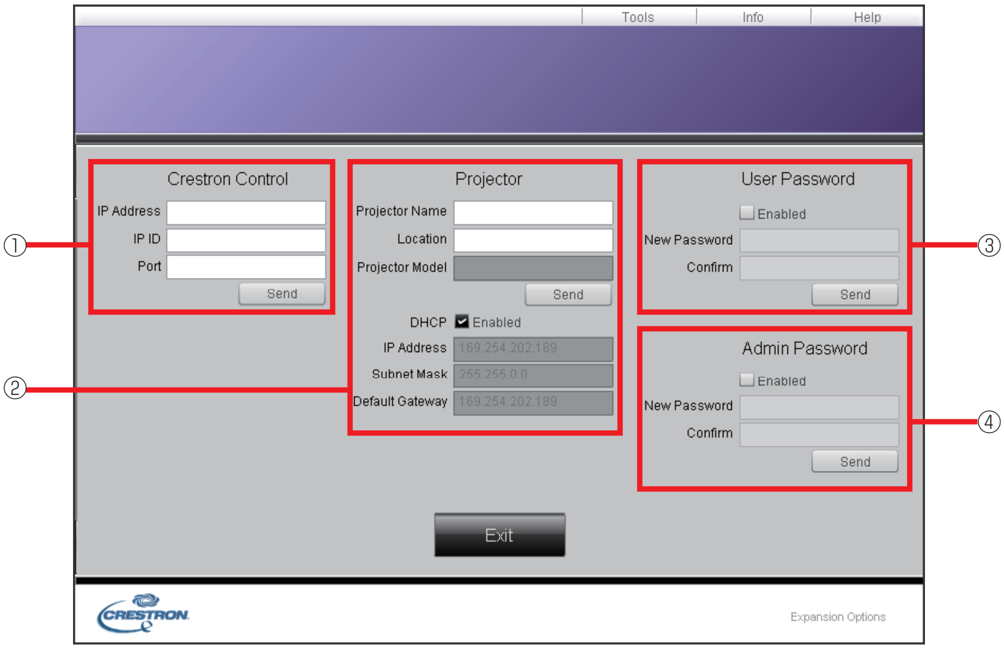
④ **Menu**：メインメニューを表示します。
Enter：リモコンのENTERボタンと同様の操作が行えます。
Auto Position：コンピューターからの入力映像信号が最適な設定になるように自動調整を行います。
▲、▼、◀、▶：リモコンの▲、▼、◀、▶ボタンと同様の操作が行えます。

⑤ **Log Out**：操作画面からログアウトします。（User Password設定時のみ）
Tools：現在接続しているプロジェクターに対して設定を行うWeb UI Tools画面に切り換えます。
Info：現在接続しているプロジェクターの情報を表示するWeb UI Info画面に切り換えます。
Help：Help Desk画面に切り換えます。Crestron RoomViewを利用する管理者に対して、メッセージの送受信が行えます。

8. Web UI

■ Web UI Tools画面について

操作画面で[Tools]をクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面で、現在接続しているプロジェクターに対する設定が行えます。[Exit]をクリックすると、操作画面に戻ります。



① Crestron Control

Crestron の制御コントローラーに対する設定が行えます。

② Projector

プロジェクターについての以下の項目の設定が行えます。

Projector Name： プロジェクター名を任意に入力できます。(半角英数字15文字以内)
Location： プロジェクターの設置場所名を任意に入力できます。(半角英数字記号32文字以内)
Send： 設定した内容を確定するときにクリックします。

プロジェクターで設定した以下の項目の設定内容が表示されます。

Projector Model： 機種名が表示されます。
DHCP： DHCP設定がONの場合は、[Enabled]にチェックが入って表示されます。
IP Address： IPアドレスが表示されます。
Subnet Mask： サブネットマスクが表示されます。
Default Gateway： デフォルトゲートウェイが表示されます。

③ User Password

コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、[Enabled]にチェックを入れます。チェックを入れると、以下の項目が設定できます。

New Password： 操作画面を開くときに入力するパスワードを設定するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm： [New Password]で入力したものと同じパスワードを入力します。パスワードが一致しないときは、エラーが表示されます。
Send： 設定した内容を確定するときにクリックします。

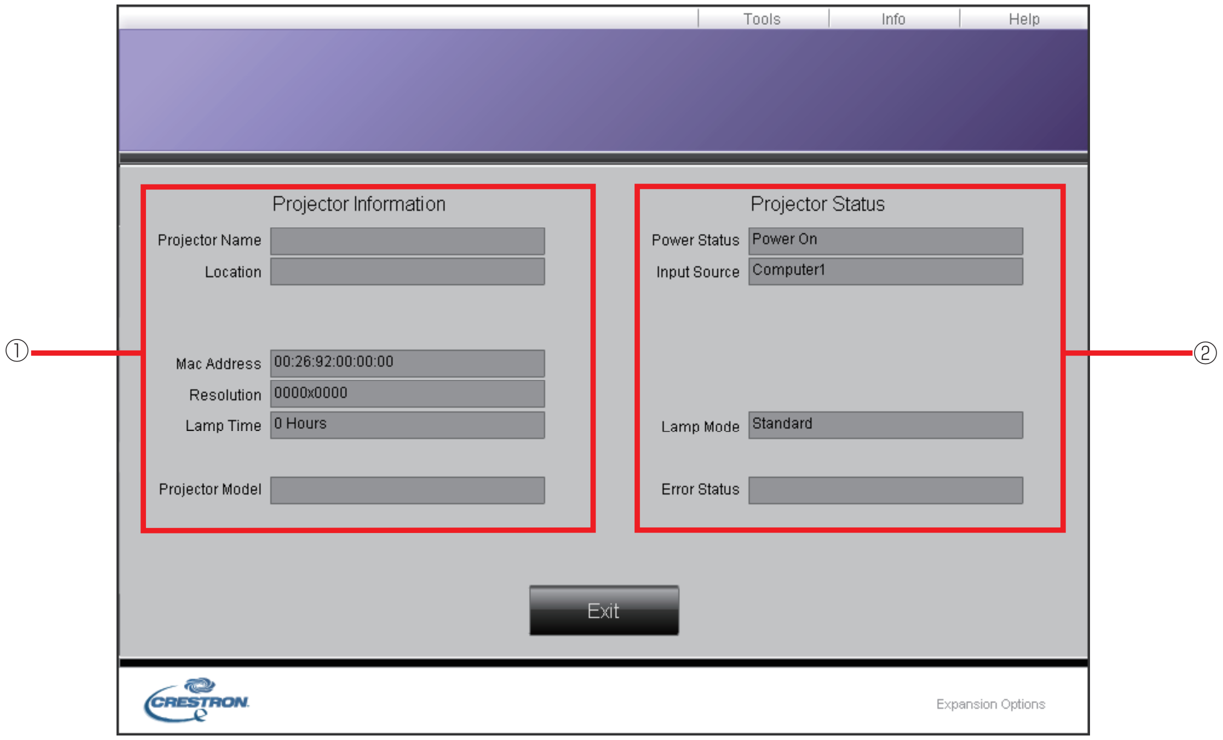
④ Admin Password

Web UI Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、[Enabled]にチェックを入れます。チェックを入れると、以下の項目が設定できます。

New Password： Tools画面を開くときに入力するパスワードを設定するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm： [New Password]で入力したものと同じパスワードを入力します。パスワードが一致しないときは、エラーが表示されます。
Send： 設定した内容を確定するときにクリックします。

■ Web UI Info画面について

操作画面で[Info]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面には、現在接続しているプロジェクターの情報と状態が表示されます。[Exit]をクリックすると、操作画面に戻ります。



① Projector Information

以下の項目について、プロジェクターの情報が表示されます。

Projector Name： プロジェクター名が表示されます。

Location： プロジェクターの設置場所名が表示されます。

Mac Address： MAC アドレスが表示されます。

Resolution： 現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。

Lamp Time： ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。

<注>

- プロジェクターのランプモードを「標準」にした場合、動作時間よりランプ点灯時間が長く表示されることがあります。

Projector Model： 機種名が表示されます。

② Projector Status

以下の項目について、プロジェクターの状態が表示されます。

Power Status： プロジェクターの電源状態が表示されます。

Input Source： 現在選択中の入力名が表示されます。

Lamp Mode： 現在選択中のランプモードが表示されます。

Error Status： プロジェクターに不具合が発生した場合、次の情報が表示されます。

Error Status欄の表示	不具合内容
3 ： Fan Error	ファンに異常が発生しています。
3 ： Lamp Strike Failure	ランプが点灯していません。
1 ： Lamp replacement recommended	ランプ寿命です。
3 ： Lamp replacement required	ランプ寿命が近づいています。
3 ： Projector Overheating	プロジェクターが過熱状態になっています。
2 ： Temperature Warning	プロジェクターが過熱状態に近づいています。
3 ： Lamp Cover Opened	ランプカバーが開いてます。
4 ： Abnormal State Detected	プロジェクター異常が発生しています。

<注>

- プロジェクターが正常な状態にある場合は、Error Status欄は空白になります。

9. ProjectorView (ProjectorView 対応プロジェクターのみ)

ProjectorViewとは、Webブラウザーを用いたプロジェクターの状態制御・監視ツールです。
27ページに記載されているプロジェクター以外では動作しません。
ProjectorViewによる設定方法の詳細については、プロジェクター本体に同梱されている「LAN制御UTILITY」操作説明書をご参照ください。

<注>

- ProjectorViewの表示言語の初期設定は英語になっています。日本語表示でお使いになる場合は、言語設定を日本語に設定してください。

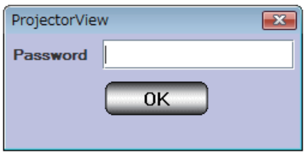
9.1. ProjectorViewの起動方法について

1 メイン画面のプロジェクターリストから、操作したいプロジェクターを選択する

- ProjectorViewの起動は1台ずつ行ってください。同時に複数のプロジェクターに対して起動することはできません。

2 メイン画面のツールバーの [ProjectorView] をクリックする

- Webブラウザーが起動し、パスワード入力ウィンドウが表示されます。



<注>

- 直接WebブラウザーのURL入力欄にhttp://《プロジェクターのIPアドレス》を入力しても起動できます。
- プロキシサーバーを使用している場合、このIPアドレスにアクセスするときはプロキシを有効にしないでください。
- 1台のプロジェクターの制御に使用できるProjectorViewは3つまでです。

3 パスワードを入力し、[OK] をクリックする (パスワードの初期設定:admin)

- ProjectorViewメイン画面が表示されます。

<注>

- パスワード入力ウィンドウが表示されてから5分以上経過すると、接続が切断され、パスワード入力を受け付けなくなります。この場合、ProjectorViewを再起動してください。

10. Telnet 設定（Telnet 対応プロジェクターのみ）

Telnetでは、パスワード設定、ProjectorView表示言語設定、LAN制御設定、PJLink認証設定が行えます。
27ページに記載されているプロジェクター以外では動作しません。
Telnetによる設定方法の詳細については、プロジェクター本体に同梱されている「LAN制御UTILITY」操作説明書をご参照ください。

<注>

- Windows Vista/Windows 7をお使いになっている場合、初期設定ではTelnet機能は無効になっております。Telnet機能をお使い頂くには、［コントロールパネル］の［プログラムと機能］の左側に表示されるタスクから「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択し、機能一覧の中の「Telnetクライアント」を有効にしてください。

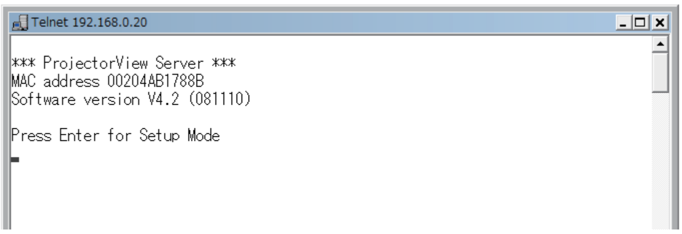
10.1. Telnet設定画面の表示方法について

1 メイン画面のプロジェクターリストから、操作したいプロジェクターを選択する

- Telnetによる設定は1台ずつ行ってください。複数のプロジェクターを同時に設定することはできません。

2 メイン画面のツールバーの［Telnet］をクリックする

- コマンドプロンプトが起動します。
- Telnetに対応していないプロジェクターでは、エラーメッセージが表示されます。

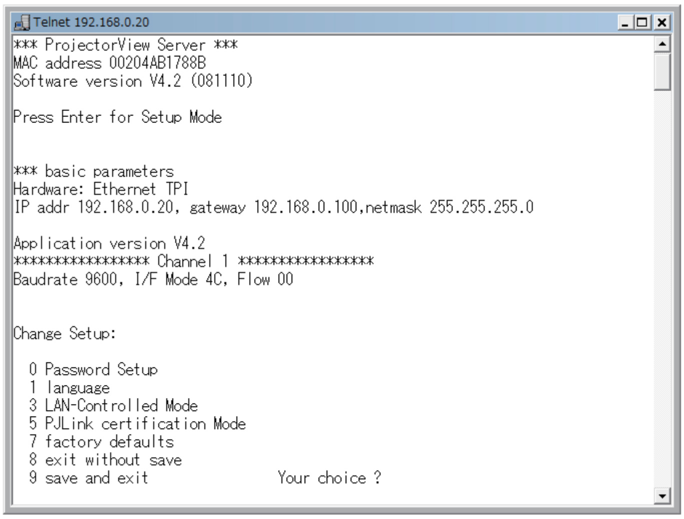


3 上記画面が表示されたら、［Enter］キーをクリックする

<注>

- ［Enter］キーは5秒以内に押してください。5秒以上経過すると接続が切断され、キーが受け付けられません。この場合、一旦コマンドプロンプトを終了し、再起動してください。

4 設定メニューが表示される



11. その他

11.1. 故障かな?と思ったときは

● **プロジェクターが認識できない。**

ファイアウォールの設定により、プロジェクターを自動認識できない場合があります。その場合、ProjectorView Global+の通信を、ファイアウォールに例外として登録する必要があります。ファイアウォールの設定については、ファイアウォールを設定するソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

● **リモコンによる操作がうまく反映されない。**

直前の操作が完了するまで、操作ができないことがあります。しばらく時間をおいてから、再度操作してください。また、IPアドレスなどのネットワーク設定が正しいかどうかを確認してください。

● **アプリケーションが“応答なし”となることがある。**

自動ステータス取得などの処理は時間がかかることがあるため、その間はアプリケーションを操作できず、“応答なし”と表示されることがあります。処理が終了するまで、しばらくお待ちください。

● **アプリケーションが操作できないときがある。**

プロジェクターの状態取得中は操作できません。プロジェクターの状態取得は、プロジェクターの主電源が入っていなかったり、実際に設置されていないプロジェクターが登録されていたりすると、タイムアウトを待つため、時間が長くなります。このような場合、不要なプロジェクターを登録から削除すると、取得時間を短くすることができます。

● **プロジェクターを制御できない。プロジェクターの状態が見えない。**

アプリケーションを再起動してください。改善されない場合は、プロジェクター本体のネットワーク設定メニューで“ネットワーク初期化”を試してください。その場合プロジェクターの設定が初期値に戻りますので、再度設定が必要になります。

11.2. 対応プロジェクターについて

- 下記プロジェクターは、“ProjectorView”に対応しています。

LVP-XD2000, LVP-XD1000, LVP-XL650, LVP-WL639, LVP-XL2550, LVP-MH2850, LVP-FL7000, LVP-WL6700, LVP-XL6600, LVP-XD3200, LVP-WD3300, LVP-MH2850R, LVP-XD250, LVP-XD280, LVP-XD250ST, LVP-XD600, LVP-WD620, LVP-FD630, LVP-XD3200, LVP-WD3300, LVP-XD8000, LVP-XD8100, LVP-WD8200, LVP-UD8400, LVP-HC7800D, LVP-HC7800DW, LVP-FD730

- 下記プロジェクターは、“Telnet”に対応しています。

LVP-XD2000, LVP-XD1000, LVP-XL650, LVP-WL639, LVP-XL2550, LVP-MH2850, LVP-FL7000, LVP-WL6700, LVP-XL6600, LVP-XD3200, LVP-WD3300, LVP-MH2850R